

はじめまして  
無人自動配送ロボットです。  
運転手がいなくても荷物を  
目的地まで届けるよ!



この実証実験は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「自動走行ロボットを活用した新たな配送サービス実現に向けた技術開発事業」で採択されました。「工業地域向けロボットシェアリング型配送サービスの実現」に向けた取り組みです。



▲荷物到着のお知らせやロッカーの開閉は全てスマートフォンで



▲ロボットには、複数サイズのロッカーを20個搭載しています



▲自動走行のほか、状況に応じて遠隔操作も可能です

# 新港地域の ロボットによる公道実証実験



9月1日、新港西1丁目と3丁目の一部で、ある配送サービスの実証実験が行われました。

実験の主役は、かわいい小型車。この車で、出来たばかりの「広報いしかり」を運ぶというのですが、よく見ると運転席がありません。にもかかわらず、車は障害物をよけながら、自転車ほどの速度で目的地へと向かいます。

この車は、京セラコミュニケーションシステム株式の無人自動配送ロボット。約1カ月かけて蓄積した走行ルートのデータをもとに自動走行ができるのが最大の特徴で、物流業界における人手不足や、コロナ禍で浮上った買い物難民の問題などを背景に開発されました。

国内初となった車道での走行実験は9月中旬まで実施され、新港地域の方々も「今日はロボットの実験がありますよね!」と、この先駆的な取り組みに強い関心を寄せていました。

最終目標は、新港地域内の企業や小売店の間をロボットが自らルートを選んで、商品や荷物を運ぶこと。

この挑戦が、域内での次世代技術開発の機運となることを大いに期待しています。

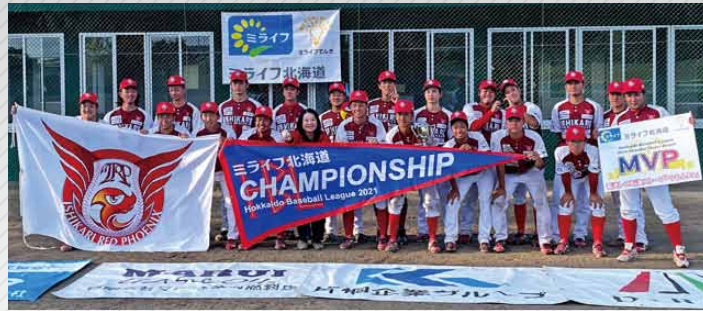
※京セラコミュニケーションシステム(株)調べ



えりすいしかりネットテレビで走行の様子をご覧になれます



# シーズン公式戦成績 37試合 29勝5敗3分 / 石狩レッドフェニックス 今季の王者に!



▲新型コロナウイルス感染拡大の影響で、試合の延期や中止、シーズン戦の打ち切りがあった中でも勝利への執念を絶やさず、シーズンを戦い切りました

今季から北海道ベースボールリーグ (HBL)に参入した石狩レッドフェニックスが、シーズン公式戦1位となり、また無観客で行われた9/15のクライマックスシリーズ、9/17・18のチャンピオンシップシリーズの全てに勝利し、見事王者に! リーグ初参戦にして今季のHBL2021を完全制覇しました。



野球教室を  
開講します  
◀詳細はこちら

☎石狩レッドフェニックス ☎info@i-red-phoenix.com

## やはり不死鳥は強かった! 感動の瞬間をご紹介

9/15  **11-4** 

対 富良野ブルーリッジ

先発の森康典投手が4失点と苦しんだものの、16安打11得点で打線が奮起し、チャンピオンシップ進出を決めました。



9/17  **6-5** 

対 美唄ブラックダイヤモンドズ

1対5で迎えた8回2アウト満塁のチャンスをつくり、押し出し四球や、平山遊野選手のタイムリーなどで1点差とすると、納口大樹選手が2点タイムリーを放ち逆転! 最後は宇多村元投手が締めて、優勝へ大手をかけた。



9/18  **9-5** 

対 美唄ブラックダイヤモンドズ

5対5の同点で迎えた9回に満塁のチャンスをつくり、中野友歌選手と土屋剛選手の2点タイムリーが飛び出し、4点を勝ち越し! 最後はクローザーの小林健吾投手が締めてゲームセット!



緊急事態宣言により試合数が大幅に減りましたが、皆さまの応援が選手の原動力となり、優勝することができました。来シーズンも応援よろしくをお願いします!



老田よし枝代表

優勝できて大変うれしいです! 球団関係者・スポンサーやHBL運営の方・市民の皆さんからの応援がとても力になりました。これからも石狩市を盛り上げるので、よろしくをお願いします!



中谷内莞キャプテン

上記の3戦は厳しい試合でしたが、優勝できてうれしいです。これも選手や球団スタッフ、スポンサー、応援してくださった皆さんが1つのチームになれたからです。応援ありがとうございました!



MVP 納口大樹選手